

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川薫久★

●メロディーレーンが最少体重優勝記録を更新

6月15日(土)の3回阪神5日・第6レースではメロディーレーン(牝3歳／栗東・森田直行厩舎)が馬体重340kgで出走し1着となりました。これはジャンヌダルクが1972年に記録した350kgを更新する、JRA最少体重優勝記録となります。

●キングジョージにシュヴァルグランが登録

7月27日(土)、イギリス・アスコット競馬場にて開催されるキングジョージVI世＆クイーンエリザベスS(G1)に、シュヴァルグラン(牡7歳／栗東・友道康夫厩舎)が予備登録を行いました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

I F H A(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2019年1月1日から6月9日までに実施された世界的主要レースが対象となります。ランキングトップは前回までと変わらずビューティージェネレーション、シティオブライト、ウインクスの3頭(125)。日本調教馬も前回と同じくウインブライトのみが第13位タイ(120)に掲載されています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド船橋の結果

2019ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド船橋は6月18日に実施され、第1戦は藤本現暉騎手(大井)、第2戦は小林凌大騎手(美浦)が制しています。

●リンゾウチャネルが北海優駿で二冠達成【各地の主要3歳重賞】

北海優駿(6月19日、門別、2000m)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立った北斗盃の王者リンゾウチャネル(牡、父モンテロッソ)が3馬身差で完勝、単勝1.2倍の支持に応えています。東北優駿(6月9日、水沢、2000m)は、先手を取った3番人気のパンプキンズ(牡、父スターリングローズ)が、単勝1.4倍で圧倒的人気のグレートアラカーを2馬身差で抑え、寒菊賞に次ぐ重賞制覇を果たしました。高知優駿(6月16日、高知、1900m)は、逃げた2番人気のJRAからの移籍馬ナンヨーオボロヅキ(牡、父キンシャサノキセキ)が後続を半馬身振り切り、土佐春花賞に続く重賞勝ち。単勝1.8倍で歓然人気の佐賀からの遠征馬スーパージンガは5着でした。

●インティ、オメガパフュームが参戦、6月26日の帝王賞(大井)

帝王賞(JpnI、6月26日、大井、2000m)は、インティ、オメガパフューム、チュウワウイザード、ミツバ、アポロケンタッキー、オールブルッシュの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1プリンスオブウェールズS～ディアドラは6着

6月19日にイギリスのアスコット競馬場でG1プリンスオブウェールズS(4歳上、芝1990m)が行われ、直前になって一気に強まつた雨の中、L.デットーリ騎手を背に2番手でレースを進めたクリスタルオーシャン(牡5歳、父シーザースターズ、M.スタウト厩舎)が残り400mで先頭に立つと、アイルランドからの遠征馬マジカルの追い上げを1馬身½差退けて優勝。G1初制覇を果たしました。武豊騎手が騎乗した日本のディアドラ(牝5歳、栗東・橋田満厩舎)は、最後の直線で突き放されて6着でした。勝ったクリスタルオーシャンは今年4月のG3ゴードンリチャーズS(芝1990m)、5月のG3アストンパークS(芝2400m)に統いての重賞3連勝です。

●G1仏オークス～チャネルが3連勝でG1初制覇

6月16日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏オークス(3歳牝、芝2100m)は、4、5番手でレースを進めたチャネル(父ナサニエル)が残り200m手前で先頭に立つと、後続の追い上げをアタマ差退けて優勝。重賞初制覇をクラシックの大舞台で飾りました。G1仏1000ギニーでハナ差の2着の後、吉田照哉氏にトレードされて今回のレースを迎えたコムは道中は勝ち馬の後ろを追走し、ゴール前では鋭く前に迫りましたが今回もわずかに及ばず2着。今年4月4日のデビューから3連勝でG1サンタラリ賞を制して1番人気に推されたシヤラフィナは大外16番枠からの発走だったことも響いたか直線でもうひと伸びを欠いて6着に終わりました。なお、このレースにはC.ルメール騎手がG3ペネロープ賞の勝ち馬カルティエム、武豊騎手がセーヌ賞(リステッド)の勝ち馬アマレナとのコンビで参戦しましたがそれぞれ13着、15着でした。勝ったチャネルは今年3月30日のデビュー戦は2着でしたが、続く4月の未勝利戦(芝2200m)と5月の一般戦(芝2100m)を連勝してここに臨んでいました。P.ブドー騎手、F.グラファール調教師はともにこのレース初制覇です。